

様式第9号（第10条関係）

団体名	特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
-----	-----------------------

令和4年度 寄附金活用実績報告書

事業の区分 (該当へ☑してください)	<input type="checkbox"/> 団体支援型 <input checked="" type="checkbox"/> テーマ指定型 <input type="checkbox"/> 自由提案型
実施期間	令和4年4月1日 ~ 令和5年3月31日
寄附活用実績額等	寄附目標額：602,151,000円（個人版ふるさと納税のみ） 寄附実績額：552,300,683円 (R4.2-3月 12,524,790円、R4.4-R5.1月 539,775,893円) 事業費：1,807,018,662円 自己負担額：1,293,379,662円
事業内容	保護した野犬のトレーニングを強化し、譲渡会への参加や新しい里親募集サイトの開設などを通じてオンライン、オフライン両面の譲渡に力を入れ、里親希望者とのマッチングを進めた。引き続き、広島県や他の保護団体などと協力して殺処分機の稼働ストップを維持しつつ、動物愛護法改正に伴う数値規制の導入に対応し、飼育スタッフの増員、犬舎増設に取り組み、環境改善を図った。災害救助犬、低血糖アラート犬など使役犬の育成を継続し、殺処分をなくすための啓発活動や保護犬に対する関心の喚起にも取り組んだ。動画サイトやSNSによる活動報告、情報発信を活発におこなった。事業資金の調達については、ふるさと納税に加え、インターネット広告も活用して継続会員の増加に努めた。遺贈による寄付も増加した。
実施事業の成果・効果	広島県の殺処分機の稼働を継続してストップ、530頭以上の犬を譲渡することができた。新型コロナウイルス感染拡大の影響は続いたが、オンラインでの問い合わせ数が増加し、譲渡プロセスの改善をおこなった。飼育スタッフが増え、老犬や介護が必要な犬に対してもより手厚いケアができるようになり、中堅スタッフが運営を担う体制づくりを進めることができた。元野犬の人慣れトレーニングの技術向上に引き続き注力し、ノウハウをスタッフで蓄積することができた。会員が55,000人を超え、事業の運営基盤が安定した。

様式第10号（第10条関係）

団体名 **特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン**

令和4年度 収支決算書

事業の区分		□団体支援型 <input checked="" type="checkbox"/> テーマ指定型 □自由提案型	
事業名		ピースワンコ・ジャパン プロジェクト	
項目		金額（円）	内容・内訳計算（単価×数量）
収入	交付金交付申請額	513,639,000	ふるさと納税による神石高原町への寄付金の93% 個人版：513,639,000円 (R4.2-3月 11,648,000円、 R4.4-R5.1月 501,991,000円)
	企業版ふるさと納税 交付金	200,000	
	寄付金(会費を含む)	1,267,374,060	会費、指定寄付金
	その他事業収入	25,805,602	業務委託料、原稿講演料、商品売上高等
	前年度繰越金	0	
	収入計	1,807,018,662	
支出	スタッフ人件費	373,424,505	給料、賃金、法定福利費、福利厚生費、採用関係費等
	直接事業費	159,955,016	犬養育費・医療費、救助犬等育成事業費
	犬舎・事務所維持費	250,867,205	水道光熱費、事務所維持費、修繕費、地代家賃
	物品購入費	13,695,138	事務用品・備品・消耗品購入費
	商品仕入高	1,201,757	
	旅費交通費	14,793,984	国内外旅費、車両維持費
	ふるさと納税返礼品 関連支出	18,475,133	返礼品の購入費
	保険料	7,306,058	
	外注費	65,263,800	コンサルティング・広報・管理業務等委託費、報酬
	その他事務管理費用	642,164,282	リース料、医療衛生費、通信・運搬費、広報啓発費、 コピー印刷代、会議費、会場費、租税公課、手数料等
	犬舎建設などに係る 固定資産購入支出	79,038,999	犬舎建設費、車両購入費等
	一般管理費	180,832,785	指定寄付金等の25%を上限とした一般管理費
	次年度繰越金	0	
	支出計	1,807,018,662	

※支出科目は、人件費、報償費、使用料・賃借料等に分けて記載して下さい。